



事務連絡
令和2年9月3日

関係団体 各位

九州運輸局 自動車交通部長

台風第10号の接近に備えた体制の確保等について

平素から国土交通行政に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

気象庁によると、強い台風第10号は、今後、特別警報級の勢力まで発達し、5日から6日にかけて沖縄地方に接近するおそれがあり、その後も特別警報級の勢力を維持したまま北上し、6日から7日にかけて奄美から九州を中心に接近または上陸するおそれがあります。

これまでの予想より台風がより発達する予想となっており、沖縄地方・奄美地方でも特別警報を発表する可能性があります。

台風が接近する地域では、記録的な暴風・高波・高潮、記録的な大雨となるおそれがあるほか、西日本や東日本でも暖かく湿った空気が流れ込むため、広い範囲で大雨となるおそれがあります。

台風が接近する地域では、記録的な大雨・暴風・高波・高潮に最大級の警戒が必要です。気象庁の発表する最新の台風情報に留意するとともに、今後、各地の気象台の発表する早期注意情報や警報・注意報などの気象情報に留意してください。

つきましては、下記の点に留意頂き、対応について万全を期すよう傘下会員事業者あて周知方宜しくお願ひします。

記

1. 最近の被害箇所等への対策の徹底

過去に被災した箇所については、再度の災害発生に備え施設の再点検や監視体制を確保するとともに、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に警戒・注意するなど万全を期すこと。

2. 気象状況等に応じた適切な対応の徹底

強風、降雨状況の把握に努め、気象状況等を的確に判断しつつ、施設等への被害が予想される場合には早期に体制を取り、適切に運行管理を行うなど事前の対応に万全を期すこと。

3. 乗客等への適切な対応

訪日客を含む内外の利用者に対し、適確な運行情報の提供等の措置を講ずること。

